

令和3年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立朝日小学校

はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

<全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和3年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、原則として全児童

3 調査実施日

令和3年5月27日(木)

4 調査の内容

(国語、算数) 教科に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校調査は、国語及び算数とする。 ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 ・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数においては、記述式の問題を一定割合で導入する。 	
	【小学校 国語・算数 各45分】	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査	学校に対する調査
	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など 【20分程度】	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など

本校の調査結果の概況

小学校

＜教科に関する調査＞ は全国平均正答率を上回ったもの



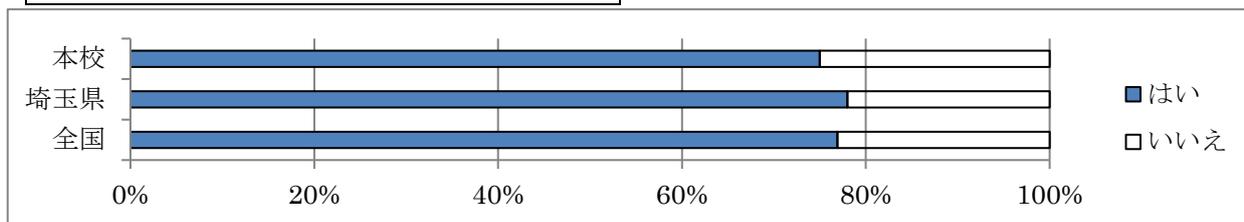
国語				
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
話すこと・聞くこと	3	87.7	77.5	77.8
書くこと	2	72.8	61.6	60.7
読むこと	3	55.9	46.8	47.2
言葉の特徴や使い方に関する事項	6	75.5	68.9	68.3

算数				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と計算	4	73.2	61.2	63.1
図形	3	54.9	54.8	57.9
測定	3	77.5	72.5	74.8
変化と関係	3	84.8	75.8	75.9
データの活用	5	82.9	76.2	76.0

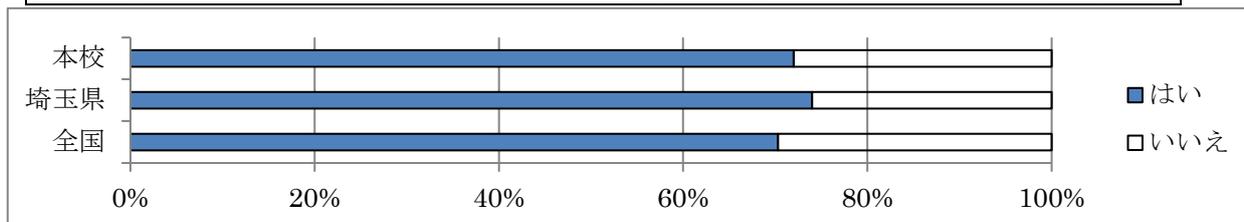
＜児童への質問紙調査＞（主なものをグラフで表示）

はい…当てはまる、どちらかといえば当てはまる
 いいえ…どちらかといえば当てはまらない、当てはまらない

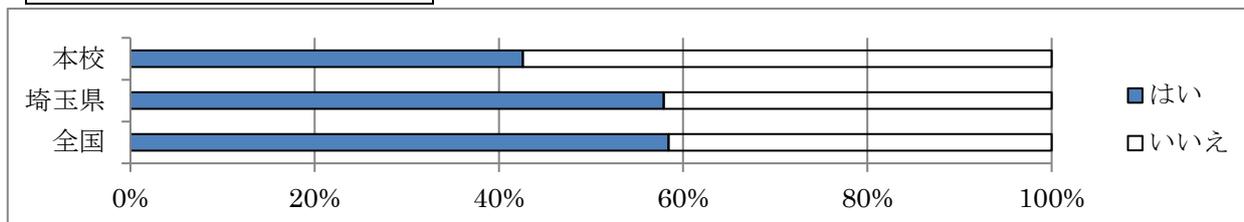
自分には良いところがあると思いますか。



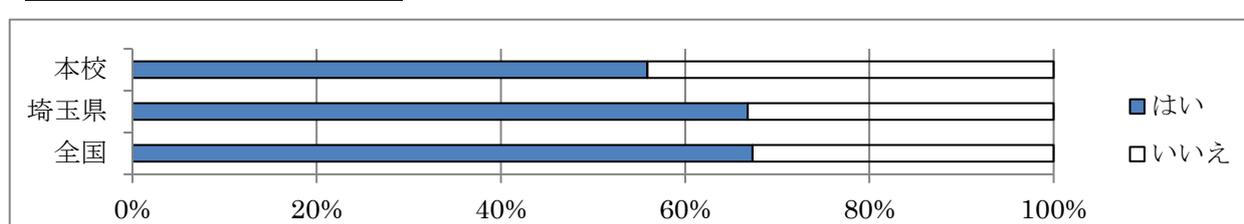
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。



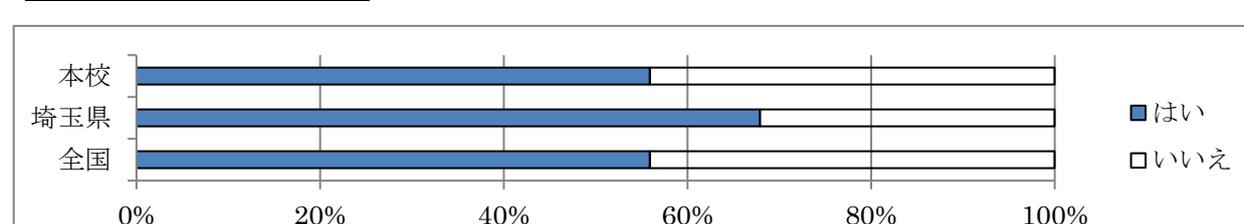
国語の勉強は好きですか。



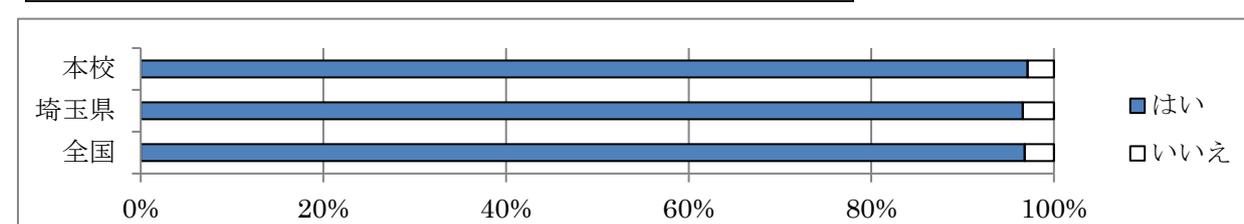
算数の勉強は好きですか。



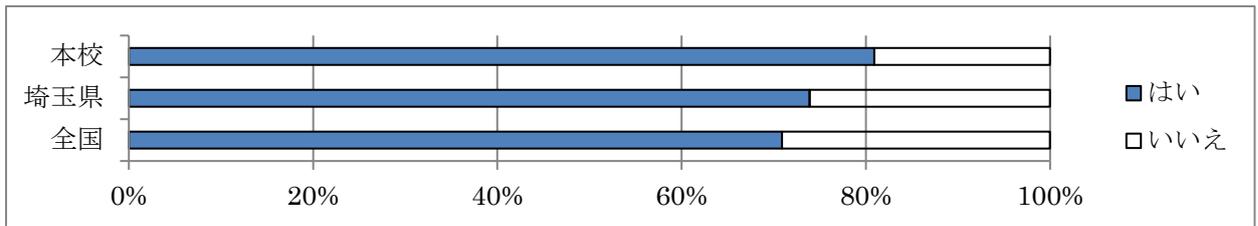
英語の勉強は好きですか。



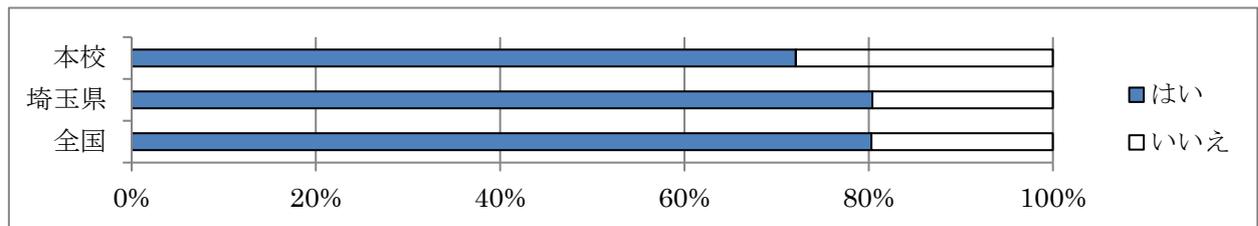
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



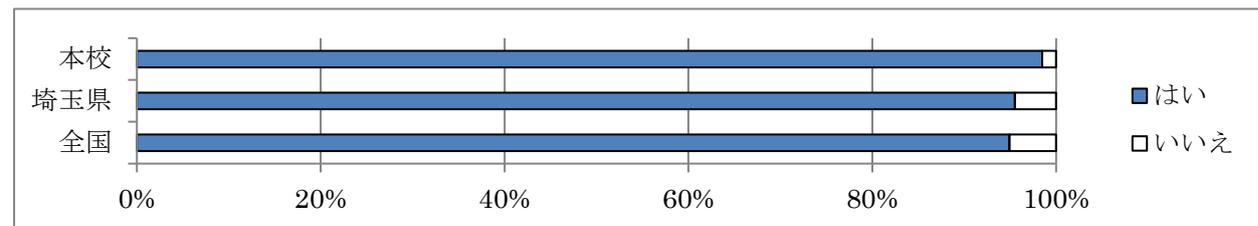
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。



将来の夢や目標を持っていますか。



朝食を毎日食べていますか。



本校の調査結果の分析・考察

<国 語>

【領域別の分析】

結果からわかること

- すべての観点で、全国の平均正答率を上回りました。
- ◆「読むこと」は全国の平均正答率を上回ったものの、正答率が他の観点と比較して低くなっていることから、重点を置いて指導していく必要があります。

分析

- 「目的や意図に応じ、資料を使って話す」こと等は、定着がみられます。
- ◆「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける」ことや、「文の目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」こと等、思考力、判断力、表現力等の「読むこと」については、課題がみられます。

【問題例①】

問題 2 三

別掲の【資料】を本文と合わせて読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く問題。

正答例

メストラルは、ゴボウの実が犬の毛に絡みついていたことをヒントに、かぎ状のフックが輪の形をしたループ状に引っかかることでくっつく仕組みの面ファスナーを作り出した。(80字)

本校正答率 45.6%

全国正答率 34.4%

<分析>

- ◎「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける」などして必要な情報を見付ける問題です。本文の第二段落と、【資料】の面ファスナーの仕組みの図とが結び付いて説明されていることを捉え、別々に示された情報を関係づけて読むことが求められています。
- ◆誤答として、面ファスナーを作り出すヒントになったものについては触れられていても、面ファスナーの仕組みについて書かれていないものが多くありました。問題文に示されている条件をよく理解し、その条件を満たすために必要な情報を正しく読み取ることが必要です。

【問題例②】

問題 2 四

別掲の【資料】を本文と合わせて読み、面ファスナーが宇宙でどのように使われているか、条件に合わせて書く問題。

正答例

面ファスナーはしっかりとくっつき簡単にはがせることから、物がうかぶ国際宇宙ステーションの中で、身の回りのすべての物の固定に使われている。(70字)

本校正答率 39.7%

全国正答率 29.7%

<分析>

- ◎「文の目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する」ことができるかどうかをみる問題です。相川さんが、面ファスナーが宇宙でも使われていることについて端的にまとめようとしていることを捉え、条件にある「面ファスナーのよさ」と「国際ステーションでの使われ方」についての必要な情報を、【資料】で説明されていることから見付け、要約し分量を考えながらまとめることが求められています。
- ◆誤答として、「宇宙ステーションでの使われ方」について書かれているものの「面ファスナーのよさ」について満たしていないものが多くありました。文章全体の内容を正確に把握した上で、目的に応じて必要な情報を的確にまとめることが必要です。

<算 数>

【領域別の分析】

結果から分かること

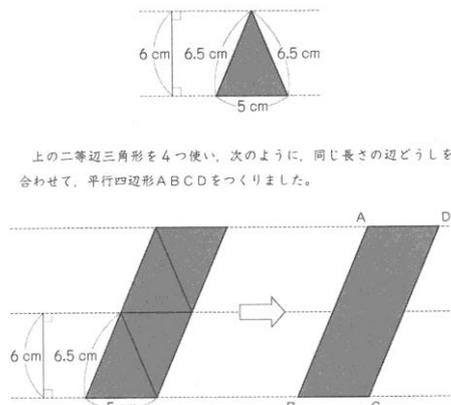
- 「図形」以外の観点で、全国の平均正答率を上回っています。
- ◆「図形」は県の平均正答率を上回ったものの、全国の平均正答率を下回った上、他の観点と比較しても低くなっており、重点を置いて指導していく必要があります。

分析

- 「変化と関係」の速さに関する問題では、伴って変わる二つの数量関係に着目し、それらを用いることについて、平均より高い定着が見られました。
- 帯グラフで表された複数のデータを比較し、条件に合った項目とその割合を記述する問題場面では、データの特徴や傾向をとらえて的確な記述ができていました。
- ◆直角三角形の問題場面では、面積の求め方や複数の図形を組み合わせた面積の求め方について課題が見られました。

【問題例①】

問題 2 (3)



上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。

BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形の高さをどのように求めたのかがわかるようにしましょう。また、平行四辺形の面積を求めましょう。

正答例

<求め方>

辺BCを底辺としたとき、高さは $6 \times 2 = 12$ で、12cmです。平行四辺形の面積は、 $5 \times 12 = 60$ で、60 cm^2 です。

<答え>

60 cm^2

本校正答率 39.7%
全国正答率 46.0%

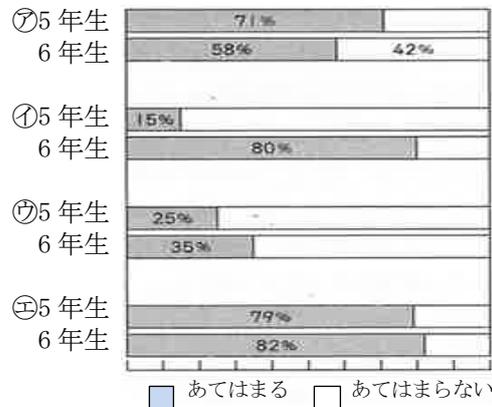
<分析>

- 図形の構成の仕方を捉えて必要な長さを求め、図形の面積の公式を用いて答えを導き出すことが求められている問題です。
- 面積を求めようとする図形の辺の長さや位置関係、分かっている図形の辺の長さや位置関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明できるようにすることが大切です。

【問題例②】

問題 3 (4)

【図書室で本をあまり借りていない理由】



- ⑦図書室に読みたい本がない
 - ④図書館に行く時間がない
 - ⑤ページ数が多く読み終わるのに時間がかかる
 - ②地域の図書館で本を借りている
- 5年生と6年生で「あてはまる」と答えた人の割合の違いが一番大きい項目はどれですか。またその項目について「あてはまる」と答えた5年生と6年生の割合はそれぞれ何%ですか。項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

正答例

「④図書館に行く時間がない。」が一番割合の違いが大きく、5年生の「あてはまる」の割合は15%、6年生は80%です。

本校正答率 58.8%
全国正答率 52.0%

<分析>

- 質問されている内容を理解し、それに合ったデータの特徴や傾向をとらえて的確な記述をすることが大切な問題です。
- データを活用し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述することにおいて、全国、埼玉県よりも高い平均正答率になっています。

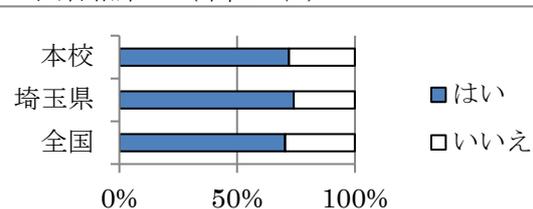
<質問紙調査から>

【(例1)】

<質問>

自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか

<回答結果> (単位：%)



	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
本校	13.2	58.8	25.0	2.9
埼玉県	30.1	43.9	20.5	5.4
全国	26.7	43.6	23.8	5.9

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせると、その割合は全国・県の値と近似値を示しています。

一方で、当てはまると回答している割合は全国・県の半分程度の値になっていることから、児童の自己評価の厳しさを謙虚さが伺えます。

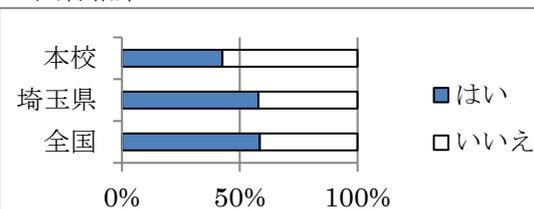
本校は「互いの思いを認め合い、自信をもって表現する朝日っ子～気持ちを伝え合う力を育てる特別活動の工夫・改善～」というテーマで令和2年度より学校課題研究に取り組んでいます。児童が自信をもって自分の思っていることを表現できるよう、今後も指導にしていきます。

【(例2)】

<質問>

国語の勉強は大切だと思いますか。

<回答結果>



	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない
本校	4.4	38.2	47.1	10.3
埼玉県	22.8	35.1	26.6	15.4
全国	22.7	35.7	27.2	14.3

質問紙調査で質問のあった国・算・英の3教科の中で、国語について「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合が特に低くなっています。

学習の定着を確認するワークテストでも、授業で学んだ内容についての問題では高い理解を示す一方で、初めて読む文章に関する問題では理解度が若干下がる傾向にあり、今回の調査結果からも「(字や文を)読んで理解する」ことの苦手意識の高さが、この結果に与えている影響は大きいと考えられます。

今後も、児童が授業の中で目的意識をもって学習に取り組めるように一層努めていきます。

<埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「令和3年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：[【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

2 調査対象

小学校第4・5・6学年 原則として全児童

3 調査実施日

令和3年5月12日（水）

4 調査の内容

（1）教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

（2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

本校の調査結果の概況

<教科に関する調査> は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた児童の割合…前年度から学力が伸びた児童の全体に対する割合

↑↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
言葉の特徴や使い方	12	72.8	71.6	13	60.0	58.0	14	68.6	61.6
情報の扱い方、我が国の言語文化	5	68.5	67.9	4	65.6	60.1	3	81.0	72.7
話すこと・聞くこと・書くこと	5	34.1	29.3	4	35.5	40.6	4	59.3	43.9
読むこと	4	51.0	41.1	9	62.8	60.3	9	68.7	55.8
※学力の伸びた児童の割合					↑↑↑↑↑	↑↑↑↑↑		↑↑↑↑↑	↑↑↑↑↑

算数	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
数と計算	12	76.7	72.2	13	70.3	65.0	12	72.0	63.1
図形	6	57.8	58.3	6	65.4	60.4	7	65.9	62.3
測定	6	74.2	71.6	7	64.5	61.2	6	73.6	64.2
データの活用	6	75.1	75.2	6	59.5	56.1	7	63.7	53.1
※学力の伸びた児童の割合					↑↑↑↑↑	↑↑↑↑↑		↑↑↑↑↑	↑↑↑↑↑

<児童への質問紙調査> (主な結果:「規律ある態度」に関する項目の結果)

※ 達成率:「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合

上段:本校の達成率、下段:県の達成率、 は80%以上 (%)

内容	項目	第4学年	第5学年	第6学年	
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る				
	① 登校時刻	88.0	89.0	92.9	
		91.5	93.4	94.0	
	② 授業の開始時刻	81.0	90.7	87.2	
		90.5	93.2	94.8	
	2 身の回りの整理整頓をする				
	③ 靴そろえ	84.0	86.0	78.6	
		83.3	83.6	86.8	
④ 整理整頓	74.7	78.1	62.9		
	78.8	80.2	78.8		
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする				
	⑤ あいさつ	70.7	65.6	72.9	
		78.5	78.2	78.0	
	⑥ 返事	86.7	93.8	90.0	
		87.5	87.9	86.4	
	4 ていねいな言葉づかいを身に付ける				
	⑦ ていねいな言葉づかい	88.0	87.5	88.6	
		86.0	86.7	88.0	
⑧ やさしい言葉づかい	82.7	85.9	85.7		
	84.6	84.6	84.1		
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る				
	⑨ 学習準備	85.4	86.0	85.7	
		84.1	85.9	86.6	
	⑩ 話を聞き発表する	72.0	81.3	62.9	
		76.4	76.0	72.7	
	6 生活のきまりを守る				
	⑪ 集団の場での態度	86.7	76.5	82.9	
		83.5	83.6	83.9	
⑫ 掃除・美化活動	90.7	90.6	84.3		
	91.1	88.7	87.4		

本校の学力向上の取組

☆1 主体的な学びの充実

- (1) 学習課題の提示からまとめ・振り返りまでの流れを示し、児童が主体的に目的意識をもって活動できる授業をします。
- (2) 授業の流れや内容がわかり、学習の終わりに振り返りができる板書をします。
- (3) 授業では、自分で問題の解き方を考える自力解決の時間を大切にします。

☆2 学習形態の工夫

- (1) 一人、ペア学習、グループ学習、一斉学習等の形態で児童同士が意見交流する時間を確保します。自分と友達の考え方の比較を通し、いろいろな考え方があることに気づき、学習の幅を広げられるようにします。
- (2) ティームティーチング指導や少人数指導を積極的に行い、一人一人により細やかな支援ができるようにします。

☆3 個に応じた指導の充実

- (1) 単元開始前にレディネステスト（算数）を行い児童の理解度を確認し、学年や単元・課題に応じた習熟度別指導、少人数指導、ティームティーチング指導の実施に活用します。
- (2) 教育指導補助員による学習サポート
理解が十分にできていない児童や、技術が十分に身につけていない児童をサポートし、学習意欲の向上を目指します。

■4 言語活動の充実

- (1) 授業の中で、自分の考えの理由や根拠を明らかにして筋道立てて答えたり、ノートに書いたりできるようにします。
- (2) 様々な授業形態の中で、児童同士が意見交流する時間を大切にします。

■5 学習に対する態度の育成

- (1) 学習に集中して取り組むための約束として、「授業中の姿勢」「指名されたときの返事」「発表するときの声の大きさ」等の基本的なことを確実にできるようにしていきます。
- (2) ICT 機器を活用して児童の疑問や探究心を湧き立たせるような教材の活用や指導を大切にします。

授業以外の取組

☆1 家庭学習の充実

- (1) 家庭学習プランを全家庭に配付し、家庭学習を推進していきます。
- (2) 漢字・計算の繰り返しにより基礎学力の定着を図ります。
- (3) 毎日の宿題や自主学習を家庭との協力で進め、家庭学習の習慣化により、基礎学力の定着を図ります。
- (4) 帰宅後のテレビ、ゲーム、スマートフォン等を控え、読書や会話の時間を大切にする働きかけをします。

■2 業前学習・補充学習の充実

- (1) 月曜日の朝読書で読書に楽しみ、本に親しむ時間を確保し、読解力の向上を目指します。
- (2) 長期休業を利用したコバトン問題集の活用を図ります。

本校の学力向上プラン

桶川市立朝日小学校学力向上プラン

関係法規

- 学習指導要領
- 埼玉県小学校教育課程編成要領
- 埼玉県教育行政重点施策
- 指導の重点・努力点 等

学校教育目標

豊かな人間性と自ら学ぶ意欲をもって
たくましく生きる児童を育成する
思いやりのある子
進んで学習する子
たくましい子

地域、児童の実態

- 保護者、教師の願い
- 期待される児童像
- 学力向上に係る「学校課題」への取組

かがやくひとみ 笑顔いっぱい朝日っ子

第6学年 全国学力・学習状況調査

○国語・算数の正答率 (前5.28実施) 正答率 国語 74.0%(県65全国64.7) 算数 76.0%(県69全国70.2)

埼玉県学力学習状況調査

○国語の正答率 (県・前年との比較) 及び小5レベル

- 言葉の特徴 72.8% (+1.2-)
- 言語事項 68.0% (+0.6-)
- 話す聞く書く 34.1% (+4.8-)
- 読む 51.0% (+9.9-)
- 小4レベル 7-C (6-A-)

○算数の正答率 (県平均との比較) 及び小5レベル

- 数と計算 76.7% (+4.5-)
- 図形 57.8% (+0.5-)
- 測定 74.2% (+2.6-)
- データの活用 70.1% (+0.1-)
- 小4レベル 5-A (6-A-)

【第5学年】

○国語の正答率 (県・前年との比較) 及び小5レベル

- 言葉の特徴 60.0% (+2.0-)
- 言語事項 65.6% (+5.5-)
- 話す聞く書く 35.5% (-5.1-10.0)
- 読む 62.8% (+2.5+3.8)
- 小5レベル 7-C (6-A・6-C)

○算数の正答率 (県平均との比較) 及び小5レベル

- 数と計算 70.3% (+0.5-0.1)
- 図形 65.4% (+3.0+15.4)
- 変化と関係 64.5% (+3.3-13.4)
- データの活用 59.6% (+3.5+1.1)
- 小5レベル 6-A (6-B・5-B)

【第6学年】

○国語の正答率 (県・前年との比較) 及び小5レベル

- 言葉の特徴 68.0% (+7.0-)
- 言語事項 81.0% (+8.3-)
- 話す聞く書く 59.3% (-15.4+3.1)
- 読む 68.7% (+12.9-6.2)
- 小6レベル 8-B (7-B・7-B)

○算数の正答率 (県平均との比較) 及び小5レベル

- 数と計算 72.0% (+8.9+0.6)
- 図形 65.9% (+3.6-0.5)
- 変化と関係 73.6% (+9.4+9.7)
- データの活用 63.7% (+10.6+14.4)
- 小6レベル 7-A (7-C・6-A)

本本校の言葉は

自分の思いや考えをもち、理由や根拠を明らかにしてつたえる
～感染防止対策を実施しながらの学び合い～

PDCAサイクルをいかした 課題の改善

P 課題を改善するための計画等

- 「どの子にもわかる・できるを」実感させる授業の実践
- 特別支援教育の視点を生かした授業の工夫改善
- 教材教具の工夫、環境の整備

D 計画に基づく指導の実践

- 各教科の実践
- 言語活動の充実
- 家庭学習の推進

C 学力調査等のデータを生かした実態の把握

- 自校の児童の実態把握
- 自校の教育活動の成果と課題の把握

A 課題の振り返り

- 次年度の教育計画、全体計画、年間計画等への反映

改善に至る手立てとプロセス (重点的取組)

- 重点的取組の決定
「わかる・できる」を実感させる学習活動の充実を図る指導計画の作成
児童の良きや進歩の状況の積極的評価
- 全職員による共通理解
- 保護者・地域住民への周知
- 教科毎の「課題解決プラン」作成と実施
- 各取組の評価・検証
- 課題解決プランの修正と実施

校内組織・分掌体制の改正・構築

改善状況を把握する 指標の設定

- 令和4年度埼玉県学力・学習状況調査
 - 「国語」話す聞く書く正答率60%
 - 「算数」正答率70%以上
- 令和4年度全国学力学習状況調査
 - 「算数」正答率75%以上
- 校内まとめテスト
 - 「計画」正答率80%以上
 - *学習習慣の確立
 - *学習意欲の向上

各教科・領域等の指導の重点

各教科

- 言語活動の充実
- *書く・話す機会の設定
- 体験活動の充実・工夫
- 「主体的対話的で深い学び」の充実

算数

- T・T、少人数・習熟度別指導を推進
- 適に応じた指導の工夫・改善
- 教材等の維持・保管・収集
- 年間指導時数の確保 (コロナ対応)
- コース選択の方法やよりよい評価の方法の工夫
- 年間指導計画の作成

道徳教育

- 資料の読み取りをとおして、主体的に道徳の実践力を身につけさせる工夫

外国語・外国語活動

- 主体的に楽しく取り組める授業の創造

総合的な学習の時間 特別活動

- 問題解決的な学習過程を身につけさせる工夫

めざす児童像 「豊かな人間性と自ら学ぶ意欲をもってたくましく生きる児童の育成」

改善の視点 (具体的取組)

	I	II	III	IV	V	VI	VII
観点	指導内容・方法の工夫・改善	教育課程編成上の工夫	教育課程対応の工夫	学習評価活動の工夫	校内研修計画と実施の工夫	学校評価・検証の計画と実施	家庭や地域社会との連携の工夫
基本方針	○基礎基本の定着の場の設定 ○指導形態方法の工夫・改善 ○ICT機器を活用した指導法の研究	○指導計画、教材・教具等の整備	○教育課程の趣旨の共通理解と確実な実施	○児童のよさや学習状況の積極的な評価	○組織的・計画的な運営 ○教員相互の学び合いの推進	○定期的な評価データの収集 ○長期・短期の評価サイクルの活用	○家庭や地域社会との連携 ○幼小中等相互の交流
具体的取組	・少人数指導、習熟度別指導、TT指導 ・「主体的対話的で深い学び」の充実、問題解決的学習 ・言語活動の充実 ・ICT機器の活用	・年間指導計画の見直し ・授業時数統計 ・読書活動の推進 ・学習ボランティアの配置	・教育課程の完全実施 (コロナ対応含む) ・(教育課程説明会の伝達) ・体験活動の充実 ・言語活動の充実	・評価規準の整備 ・自己評価、相互評価の積極的な導入 (伝達) ・補充学習の充実 (放課後補習、学期末補習等)	・学力向上推進委員会 ・学校課題研究の取組 ・合同説明会 ・(初任者研修)や教育実習における示範授業	・教職員教育評価の学期ごとの実施 ・児童、保護者による学校評価の実施と結果の分析及び公表 ・PDCAサイクルに則った実践・検証システムの構築	・学校支援団との連携強化 ・家庭学習の目安 ・新入見学校見学会 ・学校の情報公開 (学校だより、HP等)

保護者・地域の皆様へ

- ・日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。Chromebookの活用について、本校HPに掲載した規則に則って運用してまいります。持ち帰った際の使用について、よろしく願いいたします。
- ・家庭学習(自主学習、宿題等)の際には、テレビを消す、机の上に学習用具以外の物が置かない等、学習環境に引き続きご配慮いただけますようよろしくお願いいたします。
- ・見守りと励まし、称賛の声掛けを今後もよろしくお願いいたします。